

令和4年12月吉日

各 位

OATアグリオ株式会社

「OATオリゼメートオンコル粒剤」適用拡大のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご協力を賜りました殺虫殺菌剤「OATオリゼメートオンコル粒剤」が令和4年12月21日付けにて適用拡大登録となりましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

今後とも、皆様のご指導ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

商品名 : OATオリゼメートオンコル粒剤 (第23606号)
有効成分・% : ベンフラカルブ 5.0%
プロベナゾール 3.2%

登録年月日 : 令和4年12月21日 (適用拡大)

<1>適用内容の変更:

- ・ 作物名「稲 (箱育苗)」、適用病害虫名「イネミズゾウムシ、ヒメトビウンカ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、イネドロオイムシ、いもち病」の使用量に「高密度には種する場合は1~1.4kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り 50~140g)」、使用時期「移植当日」を追加する。
- ・ 作物名「稲 (箱育苗)」、適用病害虫名「イネシンガレセンチュウ」の使用量に「高密度には種する場合は1.2kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り 60~120g)」、使用時期「移植当日」を追加する。

<2>注意事項等の変更

【追加】

- (4) 育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1から1.4kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から140gまでの範囲で調整すること。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ ヒメトビウンカ セジロウンカ ツマグロヨコバイ イネドロオイムシ いもち病	育苗箱 (30×60×3 cm, 使用土壌約 50) 1 箱当り 50～70g	移植 3 日前～ 移植当日	1 回	育苗箱の苗の上から均一に散布する	1 回	2 回以内 (移植時までの処理は 1 回以内)
		高密度には種する場合は 1～1.4kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約 5L) 1 箱当り 50～140g)	移植当日				
	イネシンガレセンチュウ	育苗箱 (30×60×3 cm, 使用土壌約 50) 1 箱当り 60g	移植 3 日前～ 移植当日				
		高密度には種する場合は 1.2kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約 5L) 1 箱当り 60～120g)	移植当日				